

越境する カワイイ！可愛い！Kawaii！

ファッションとマンガ

Cute/Kawaii/Cawaii in the Age of Globalization:
Japanese Fashion and Manga for Girls

The International Research Center for Multiple Collaborations in Humanities,
Institute for Research in Humanities, KYOTO UNIVERSITY

シンポジウムの趣旨

近年、日本の外交政策として、世界で人気の高いマンガやアニメーションなど日本のポップカルチャーが積極的に活用されていることはよく知られている。特にファッション分野で活躍する若い3人の女性（女優、歌手、モデル）が「カワイイ大使」として世界の文化事業に派遣されるという昨年のニュースは記憶に新しい。

本シンポジウムでは、日本の現代ファッションを表現する代表的なキーワード「かわいい」を足がかりに、グローバリゼーションや資本情報主義のなかの「日本」的なるものの拡大や概念について、国外から二人の研究者を招き、ファッションを含む日本のサブカルチャーの越境的性格についてさらなる議論をもとに考察を深めたい。

欧米の研究者や批評家が先導して拡大したkawaii/cawaiiについて、語彙と談話分析を含むフランスとリトアニアの事例を中心に高馬京子氏が、また同じ東アジア文化圏の中で受容され展開されるカワイイ／可愛いについて、香港少女マンガ史の中に見られる日本の少女マンガの影響という観点からウェンディ・ウォン氏が講演する。両者ともアジア出身で自国の文化・芸術を研究対象としながら、欧米を拠点に日本発の文化の越境性について研究をしてきた。

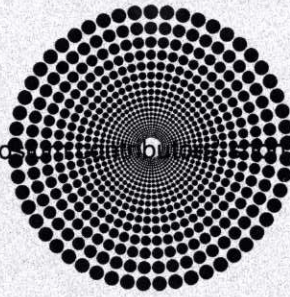
コメンテータとして、京都国際マンガミュージアムで研究統括室長をつとめる京都精華大学の吉村和真氏と日本のポップカルチャーと情報メディア文化に通じている山形県立米沢女子短期大学の小池隆太氏が当日の議論に加わる。

[通訳あり]

2011. 3.26. (sat) 13:00-17:30

京都大学人文科学研究所 1階 セミナ一室 101





講演者 Speakers



ウェンディ・ウオン Wendy Siuyi Wong

カナダのトロントでヨーク大学美術学部デザイン部門准教授（2006～2009年は学部院長）。2005～2009年はヨーク大学アジア研究所副所長。専門はグラフィックデザイン、コミック、広告画像などの中国・香港ビジュアル・カルチャーと歴史。主要業績：『香港コミック：中国の漫画（マンガ）の歴史』（Princeton Architectural Press刊 2002年、著者）、中国読者に向けた出版物を4冊発行、数々の記事を学術誌・業界誌にも載せている。



高馬京子 Kyoko Koma

モード企業で9年間、広報及びMD（マーチャンダイザー）を担当後、パリ12大学DEA、大阪大学言語文化研究科博士課程修了。言語文化学博士。現在リトアニア国立ヴィータウタスマグナス大学アジア研究センター研究員。専門は、モード、言説分析、記号論、異文化コミュニケーション。主な著者に『日仏における日本人デザイナーの表象—日仏新聞記事の言説分析を通して（1981-1992）』（Vytautas Magnus University, 2009）、Japan as Images : crossing viewpoints of Europe and Japan（編者、Vytautas Magnus University, 2010）、Mode et stéréotypes interculturels –le cas des articles consacrés aux couturiers japonais dans Le Figaro et Libération (1981-1992) (Mémoire de DEA, Université Paris XII, 2004)

コメンテーター Commentators



吉村和真 Kazuma Yoshimura

1971年福岡生まれ。京都精華大学マンガ学部准教授。京都国際マンガミュージアム研究統括室長。専門は思想史・マンガ研究。「マンガを読む」ことが日常になるまでの歴史とその思想史的意義を研究中。主要業績：『マンガの教科書』（編著、2008）、『差別と向き合うマンガたち』（共著、2007）、『「はだしのゲン」がいた風景』（編著、2006）など。



小池隆太 Ryuta Koike

1971年京都生まれ。山形県立米沢女子短期大学社会情報学科准教授。日本記号学会理事・編集委員・事務局長。専門は現代思想・文化記号論・メディア論・情報デザイン。主要業績：『写真空間2 特集・写真の最前線』（共著、2008）、『写真、その語りにくさを超えて』（共著、2008）、『ケータイ研究の最前線』（共著、2005）など。

問い合わせ：

6068501 京都市左京区吉田本町
京都大学人文科学研究所本館
075-753-6904

[予約不要]

shakti@zinbun.kyoto-u.ac.jp（田中）
onohara@biz.u-hyogo.ac.jp（小野原）

市バス「農学部前」下車徒歩1分
または「百万遍」下車徒歩5分

人文科学研究所
本館

